

# 2022年3月期第2四半期（中間期） 決算ハイライト

---

2021年11月8日

未来を、ひろげる。

## 連結業績サマリー

(億円)

	2021年度 中間期	前年 同期比※	(増減率)
<b>連結粗利益</b>	<b>① 477</b>	<b>16</b>	<b>(3.5%)</b>
資金利益	338	7	
役務取引等利益	105	17	
特定取引・その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	34 △ 6	△ 7 △ 22	
営業経費 (△)	<b>② 296</b>	14	
与信費用 (△)	<b>③ 50</b>	7	
株式等関係損益	34	20	
持分法による投資損益	-	0	
その他	2	△ 1	
<b>経常利益</b>	<b>167</b>	<b>12</b>	<b>(7.7%)</b>
特別損益	△ 6	△ 6	
法人税等合計 (△)	48	0	
非支配株主に帰属する 中間純利益 (△)	0	0	
<b>親会社株主に帰属する 中間純利益</b>	<b>④ 111</b>	<b>5</b>	<b>(4.7%)</b>

ひろぎん証券、しまなみ債権回収の増益に加え、ひろぎんリースの完全子会社化が大きく寄与し、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比5億円増益の111億円

## 1 連結粗利益

- 資金利益は、貸出金利息は減少したものの、有価証券利息配当金の増加と外貨調達費用の減少を主因に、前年同期比7億円増加
- 役務取引等利益は、法人ソリューション・アセットマネジメントに係る収益の増加に加え、しまなみ債権回収とひろぎん証券が大きく寄与し、前年同期比17億円増加
- 特定取引・その他業務利益は、国債等債券関係損益は大幅に減少したものの、ひろぎんリースの完全子会社化とひろぎん証券の寄与により、前年同期比7億円の減少に止まる
- これらにより、連結粗利益は、前年同期比16億円増加の477億円

## 2 営業経費

- 本社ビル関連経費（移転に伴う初期費用を含む）の増加と連結子会社の増加を主因に、前年同期比14億円増加
- 経費率（② ÷ ①）は62.1%（前年同期比+1.0ポイント）

## 3 与信費用

- 大口個社要因に加え、一部のお取引先について予防的に引当を積み増したことから、前年同期比7億円増加

## 4 親会社株主に帰属する中間純利益

- 2年ぶりの増益となる、前年同期比5億円増益の111億円

※ 当社は、2020年10月1日設立のため、2020年度中間期の連結計数はありませんが、参考として、広島銀行を親会社とする旧組織の2020年度中間期の連結計数と比較しております。（以下同じ）

### 広島銀行

(億円)

	2021年度 中間期	前年 同期比 (増減率)
<b>業務粗利益</b>	<b>426</b>	<b>△ 32 (△6.9%)</b>
<b>(うちコア業務粗利益)</b>	<b>① 433</b>	<b>△ 8 (△1.9%)</b>
資金利益	350	△ 16
役務取引等利益	72	9
特定取引利益	3	0
その他業務利益	0	△ 24
(うち国債等債券関係損益)	△ 6	△ 22
経費 (除く臨時処理分) (△)	<b>② 273</b>	13
<b>実質業務純益</b>	<b>152</b>	<b>△ 45 (△22.7%)</b>
<b>(コア業務純益)</b>	<b>159</b>	<b>△ 22 (△12.1%)</b>
<b>(コア業務純益 (除く投信解約損益))</b>	<b>159</b>	<b>△ 22 (△12.1%)</b>
与信費用 (△)	<b>③ 49</b>	6
株式等関係損益	33	19
その他臨時損益	12	5
<b>経常利益</b>	<b>149</b>	<b>△ 27 (△15.4%)</b>
特別損益	△ 6	△ 6
法人税等合計 (△)	38	△ 8
<b>中間純利益</b>	<b>④ 104</b>	<b>△ 25 (△19.2%)</b>

子会社からの受取配当金の減少影響 (HD連結では減益影響なし) 除きでは実質前年同期並みの、中間純利益104億円

#### ① コア業務粗利益

- 役務取引等利益は増加したものの、子会社からの受取配当金の減少 (△24億円) による資金利益の減少を主因に、前年同期比8億円減少

#### ② 経費(除く臨時処理分)

- 本社ビル関連経費 (移転に伴う初期費用を含む) の増加を主因に、前年同期比13億円増加
- コア業務粗利益ベースの経費率 (コアOHR、② ÷ ①) は63.2% (前年同期比+4.3ポイント)

#### ③ 与信費用

- 大口個社要因に加え、一部のお取引先について予防的に引当を積み増したことから、前年同期比6億円増加

#### ④ 中間純利益

- 前年同期比25億円の減益ながら、子会社からの受取配当金の減少影響 (HD連結では減益影響なし) 除きでは実質前年同期並みの、104億円

### 広島銀行以外の主要グループ会社

(億円)

	ひろぎん証券		しまなみ債権回収		ひろぎんリース	
	2021年度 中間期	前年 同期比	2021年度 中間期	前年 同期比	2021年度 中間期	前年 同期比
経常利益	10.1	5.7	3.9	3.7	5.9	△ 1.2
中間純利益	6.6	3.7	2.7	2.6	3.9	※ △ 1.0

※ ひろぎんリースの完全子会社化により、親会社株主に帰属する中間純利益への影響は前年同期比+2.9億円

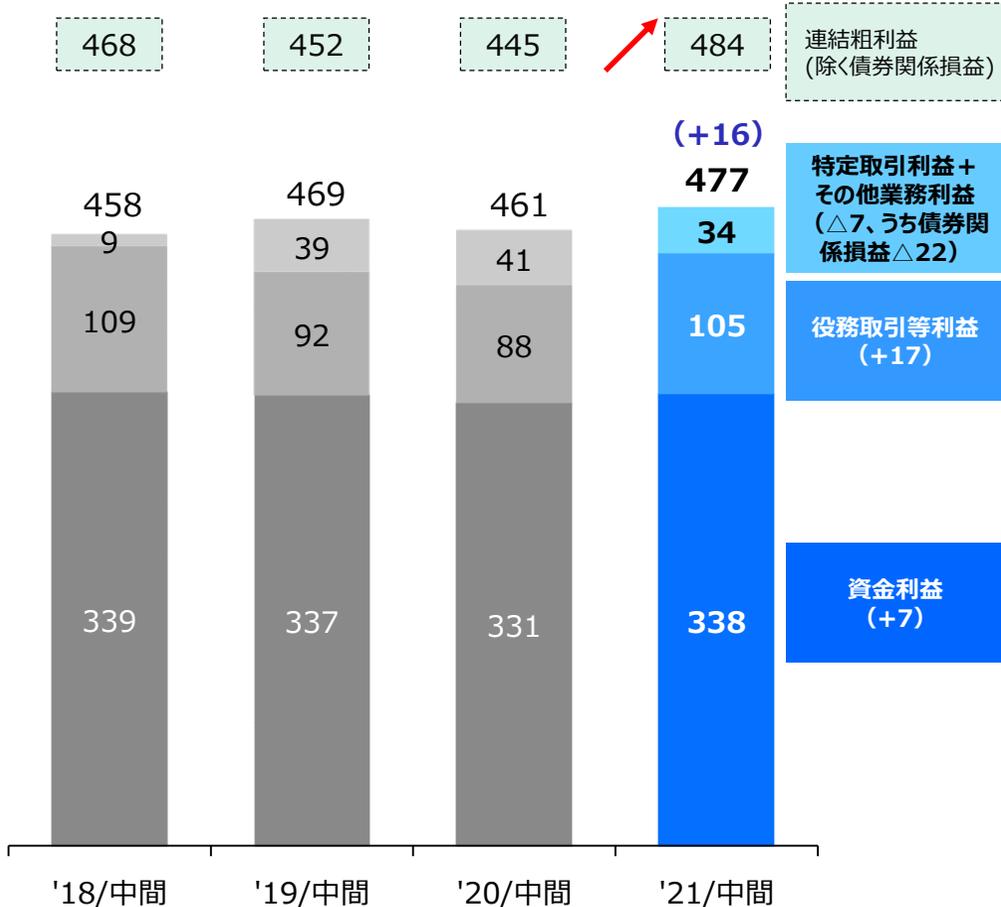
- 連結粗利益は、国債等債券関係損益は大幅に減少（△22億円）したものの、ひろぎん証券、しまなみ債権回収に加え、ひろぎんリースの完全子会社化が大きく寄与し、前年同期比16億円増加の477億円
- 連結粗利益（除く国債等債券関係損益）は、マイナス金利下で減少が続いたが、大幅な増加に反転
- 経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益とも、2年ぶりの増益

## 連結粗利益

(億円)

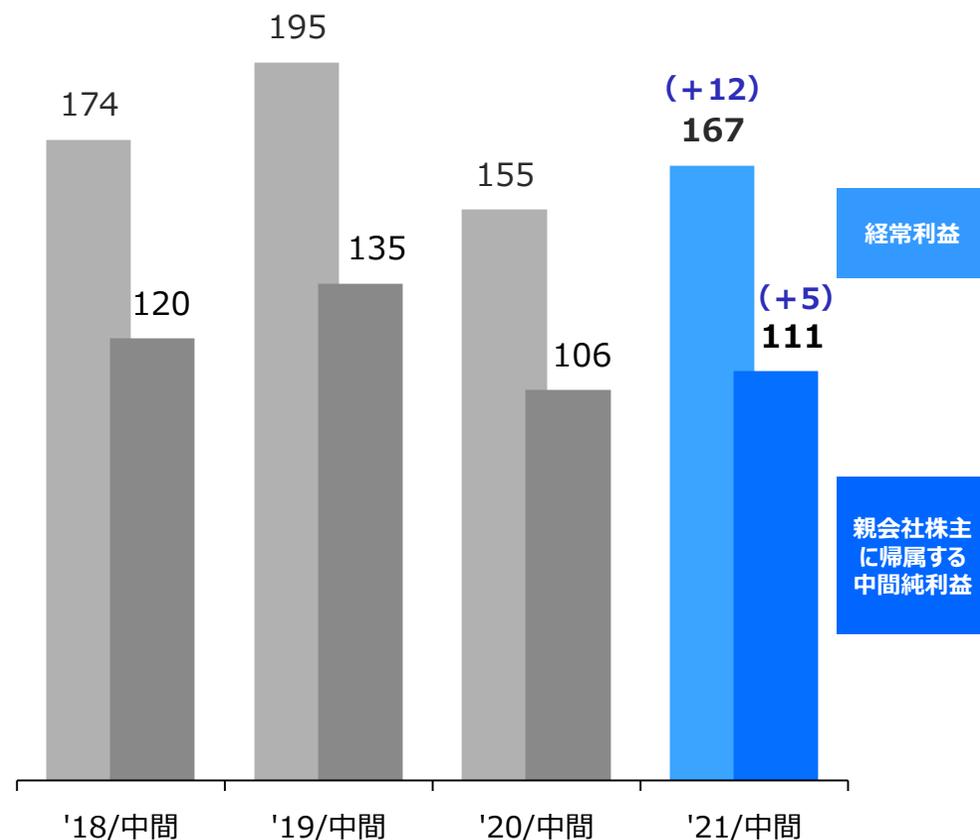
《参考》

連結粗利益  
(除く債券関係損益)



## 経常利益／親会社株主に帰属する中間純利益

(億円)

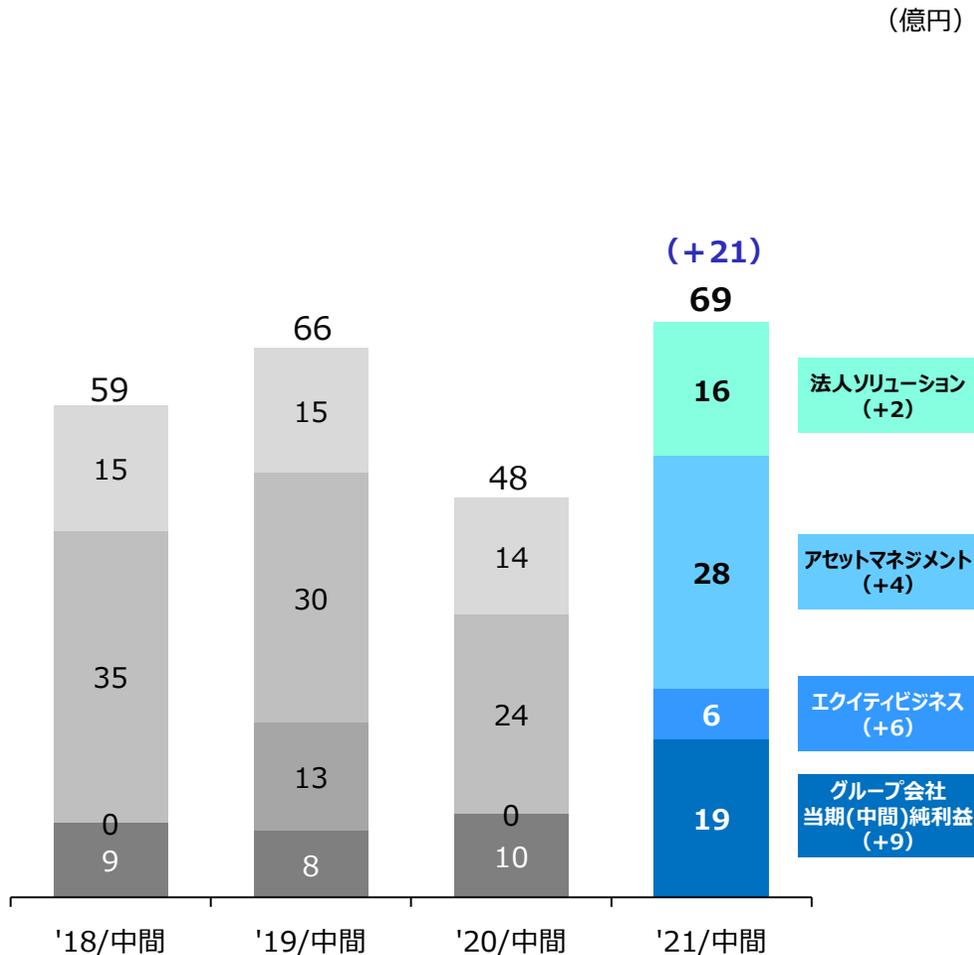


# コンサルティング業務に係る収益 および グループ会社当期純利益

HD連結

- 「中期計画2020」において経営目標として掲げ、重点的に取り組んでいる「コンサルティング業務に係る収益およびグループ会社当期純利益」は、前年同期比21億円増加の69億円と順調に推移
- 特に注力している法人ソリューション、金融商品仲介、信託に係る収益は、いずれも前年同期比増加
- グループ会社の中間純利益についても、ひろぎん証券、しまなみ債権回収等の寄与により、前年同期比大幅に増加

## 法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益 および グループ会社当期（中間）純利益 の合計



	【内訳】 (億円)			【参考】 (億円)	
	'20/中間 実績	'21/中間 実績	前年 同期比	'21年度 計画	前年比
<b>【銀行単体】</b>					
法人・個人のお客さまに対する コンサルティング業務に係る収益 ①	38	50	12	114	18
法人ソリューション	14	16	2	43	2
うち事業承継支援・M & A	2	2	0	9	3
アセットマネジメント	24	28	4	61	6
うち投資信託	5	6	1	11	0
うち保険	9	9	0	23	2
うち金融商品仲介	4	5	1	10	0
うち信託	2	3	1	8	2
エクイティビジネス	-	6	6	9	9
<b>グループ会社</b>					
当期（中間）純利益 ②	10	19	9	33	9
うちひろぎん証券	3	7	4	11	1
うちしまなみ債権回収	0	3	3	3	1
うちひろぎんリース ※	1	4	3	7	5
<b>合計（①+②）</b>	<b>48</b>	<b>69</b>	<b>21</b>	<b>147</b>	<b>27</b>

※ ひろぎんリースの'20/中間実績は、完全子会社化前の議決権所有割合（20%）を乗じた額

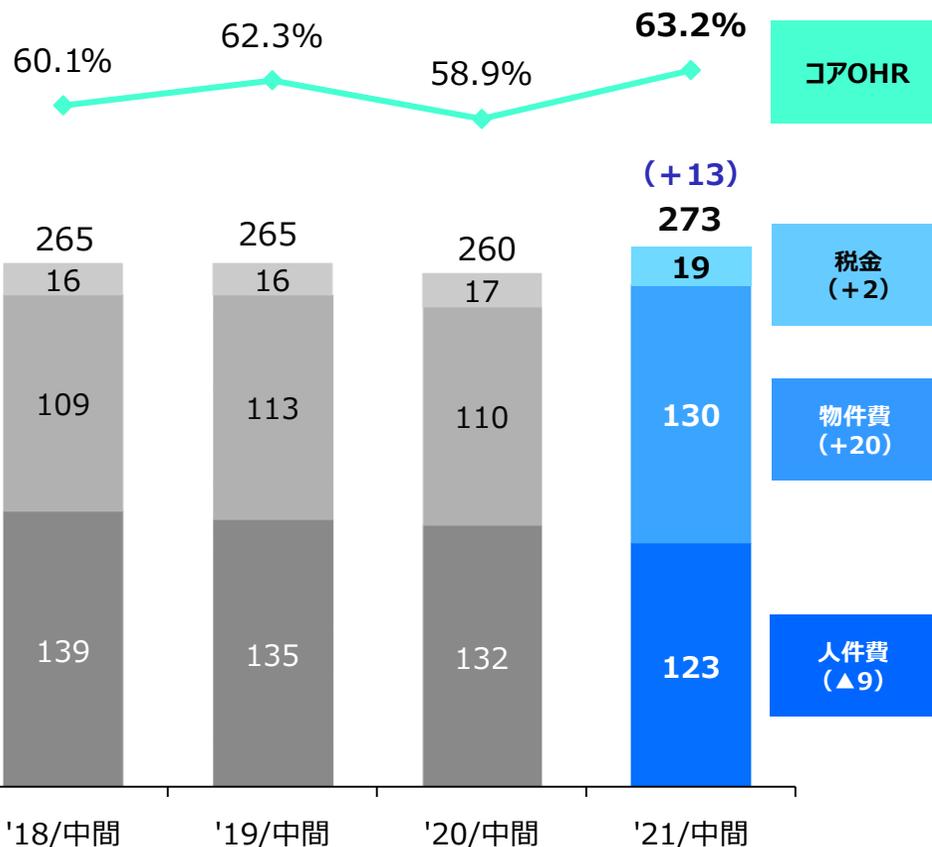


# 銀行単体の経営成績の推移 ②経費、コア業務純益、中間純利益

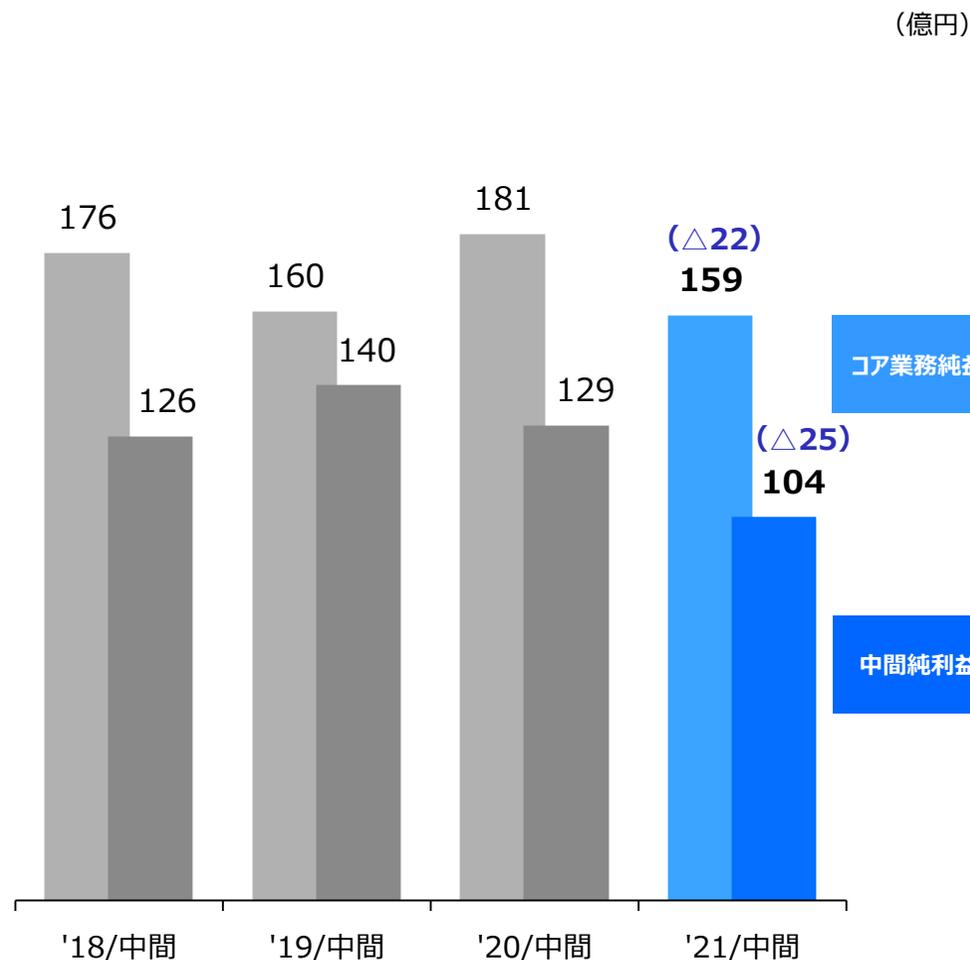
- 経費（除く臨時処理分）は、本社ビル関連経費（備品など、移転に伴う初期費用を含む）の増加による物件費の増加を主に、前年同期比13億円増加（コアOHRは前年同期比+4.3ポイントの63.2%）
- コア業務純益は前年同期比22億円減益、中間純利益は前年同期比25億円減益ながら、子会社からの受取配当金の減少影響（HD連結では減益影響なし）除きでは、実質前年同期並みの水準を確保

## 経費（除く臨時処理分）・コアOHR

$$\text{コアOHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \quad (\text{億円})$$



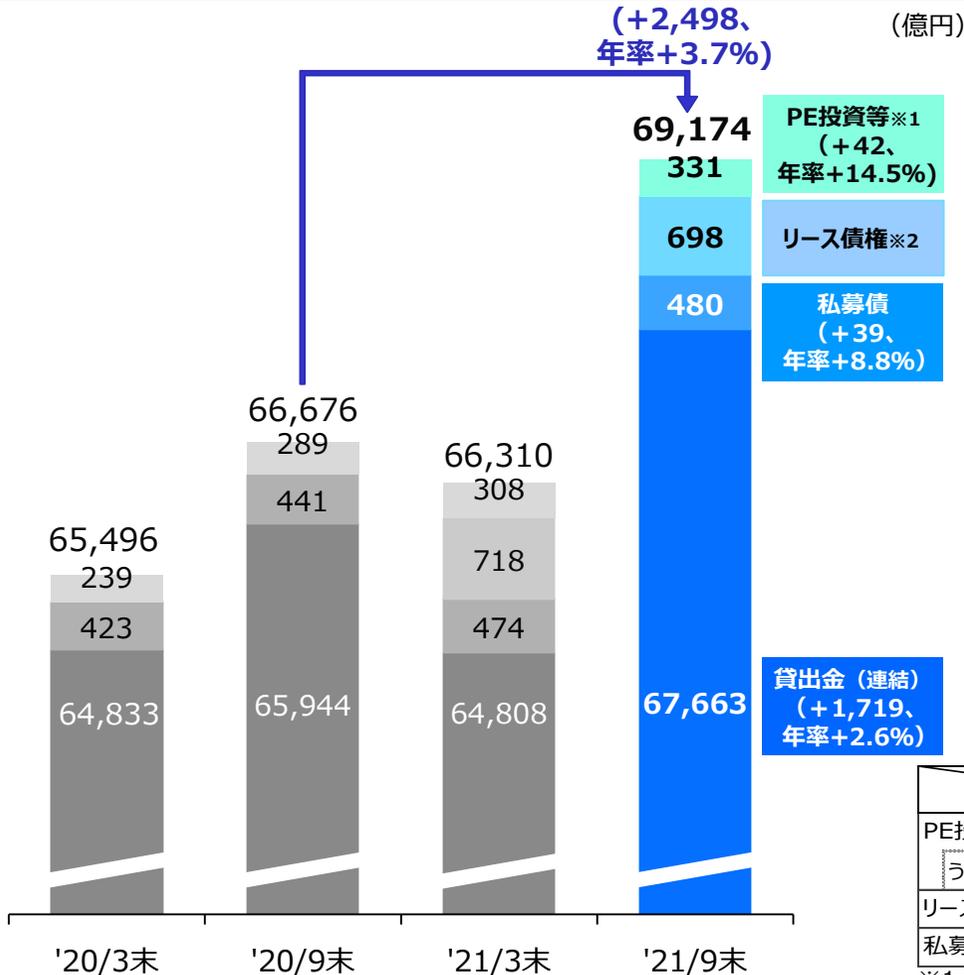
## コア業務純益／中間純利益



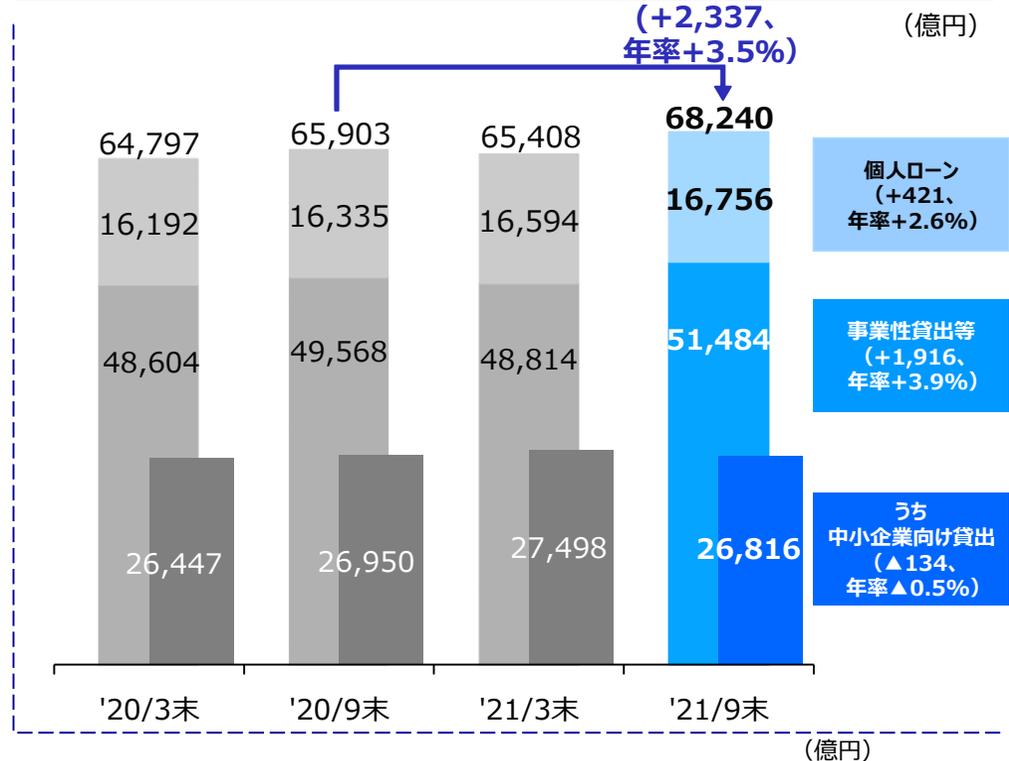
# グループ総与信（貸出金＋私募債＋リース＋プライベートエクイティ投資等）

- 地元のお取引先に対する信用リスクテイクを最優先する中、貸出・リースに加えて、私募債の受託、私募REIT出資を含めたプライベートエクイティ投資（資本性資金の供給）についても、グループ一体となって積極的に対応
- グループ総与信は、2020/9末比2,498億円増加の6兆9,174億円
- 銀行単体の貸出金残高のうち中小企業向け貸出は2020/9末対比で微減

【HD連結】グループ総与信



【銀行単体】貸出金残高



	'20/3末	'20/9末	'21/3末	'21/9末	20/9末比
PE投資(出資約束額)等 ※1	239	289	308	331	42
うち出資残高	96	103	131	147	44
リース債権 ※2	-	-	718	698	698
私募債	423	441	474	480	39

※1. PE投資等には、私募REIT出資を含んでいます。

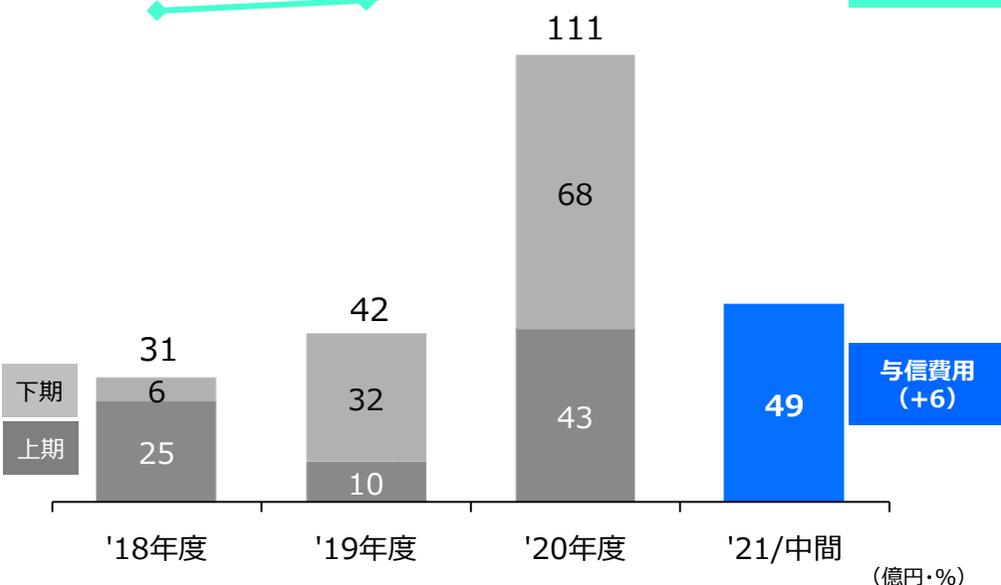
※2. 2021年3月1日付で完全子会社化したひろぎんリースのリース債権を計上しています。

- 銀行単体の与信費用は、大口個社要因に加え、一部のお取引先について予防的に引当を積み増したことから、前年同期比6億円増加の49億円（年換算の与信費用比率は0.14%）
- 金融再生法開示債権額、不良債権比率とも、2021/3末比で増加・上昇したものの、低い水準を維持

## 与信費用・与信費用比率

$$\text{与信費用比率} = \frac{\text{与信費用}(\text{※})}{\text{貸出金残高}} \quad (\text{億円})$$

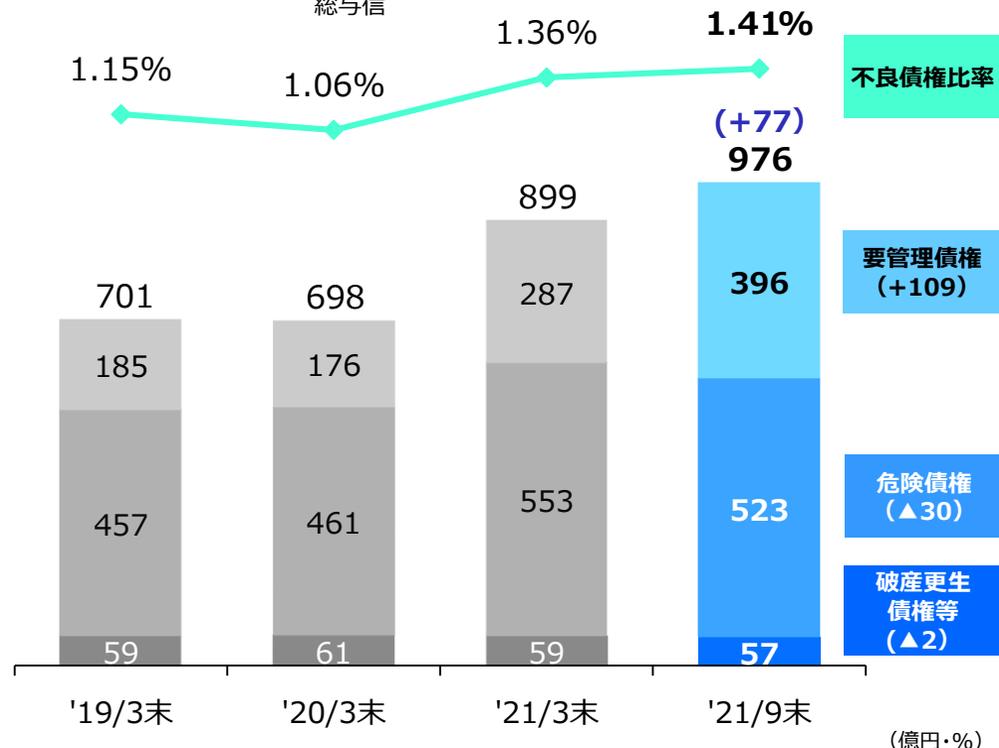
※ '21/中間は、年換算（365/183）にて算出



	'08年度	'09年度	'10年度	'11年度	...	'18年度	'19年度	'20年度	'21/中間
与信費用	232	146	119	91	...	31	42	111	49
与信費用比率	0.53	0.33	0.27	0.20	...	0.05	0.07	0.17	0.14

## 金融再生法開示債権額・不良債権比率

$$\text{不良債権比率} = \frac{\text{金融再生法開示債権額}}{\text{総与信}} \quad (\text{億円})$$



	'09/3末	'10/3末	'11/3末	'12/3末	...	'19/3末	'20/3末	'21/3末	'21/9末
金融再生法開示債権額	1,284	1,119	1,158	1,052	...	701	698	899	976
不良債権比率	2.82	2.50	2.60	2.31	...	1.15	1.06	1.36	1.41

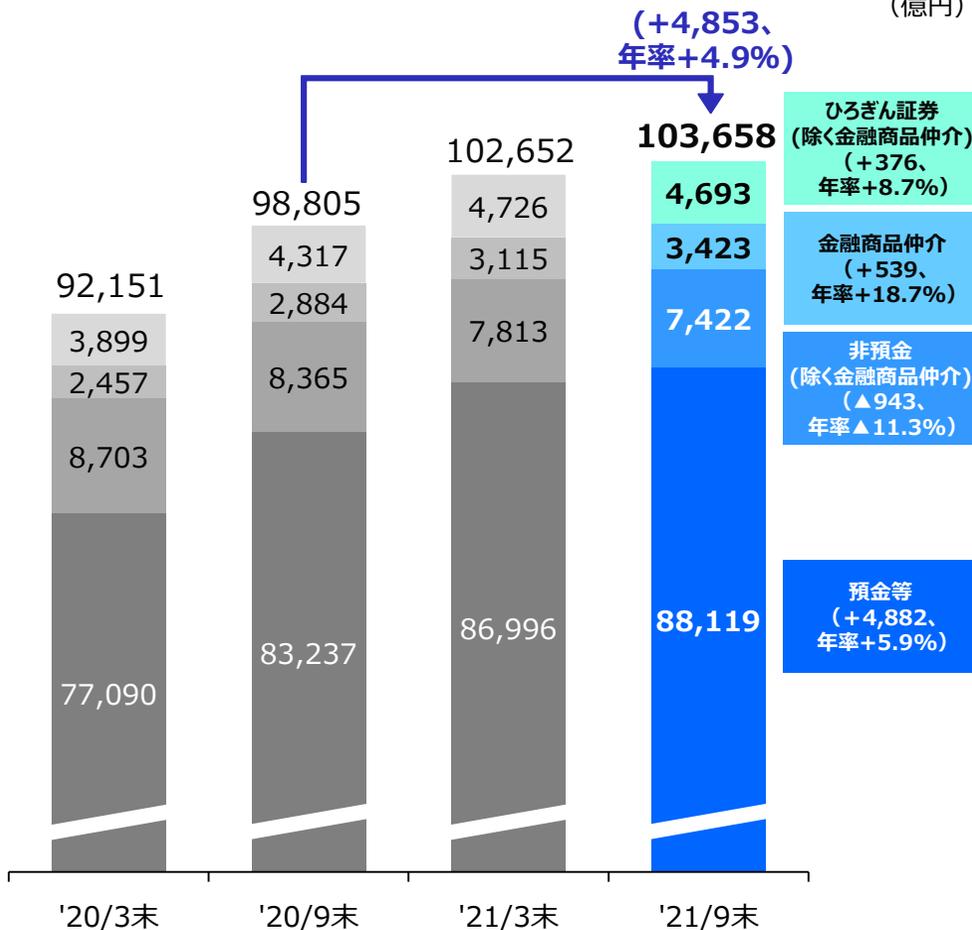
(注) 金融再生法開示債権額は、単位未満を四捨五入して表示しています。

# 総預り資産(広島銀行+ひろぎん証券)、預金等(預金+譲渡性預金)

- 総預り資産（広島銀行+ひろぎん証券）は、預金等の増加に加え、“銀証連携の強化”によるひろぎん証券・金融商品仲介の預り資産の増加を主因に、2020/9末比4,853億円増加の10兆3,658億円
- 銀行単体の預金等残高は、個人預金、法人預金、公金・金融預金とも、2020/9末比で大幅に増加

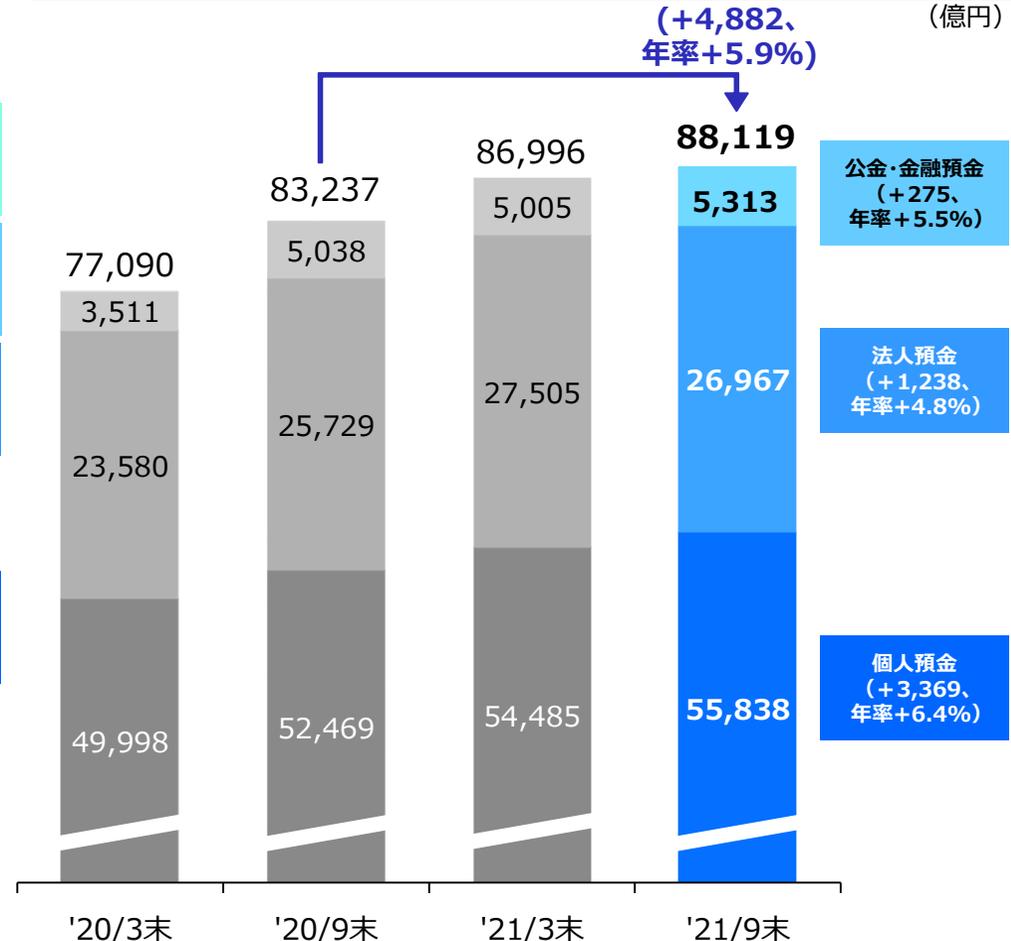
【HD連結】 総預り資産(広島銀行+ひろぎん証券)

(億円)



【銀行単体】 預金等(預金+譲渡性預金) 残高

(億円)



(注) 1. ひろぎん証券の残高は、時価ベースです。  
2. 「ひろぎんアプリ」を通じた金融商品仲介(楽天証券・SBI証券)は含んでおりません。

- 通期の業績予想について、年初予想から**上方修正**（HD連結当期純利益:220億円 ⇒ 修正予想235億円）
- 配当予想については、1株当たり年間配当金24円を据え置き
- なお、中間配当は年初予想どおり1株当たり12円実施（2021年11月8日開催の取締役会で決議済み）

## 2021年度の業績予想

(億円)

	中間期実績	2021年度業績予想	前年比	年初公表比
経常利益	167	335	25	20
親会社株主に帰属する当期純利益	111	235	20	15

(参考) 広島銀行の2021年度の個別業績予想

(億円)

	中間期実績	2021年度業績予想	前年比	年初公表比
資金利益	350	690	△12	15
非資金利益	82	170	7	-
コア業務粗利益	433	860	△5	15
経費(△)	273	545	12	△5
コア業務純益	159	315	△16	20
経常利益	149	295	△15	10
当期純利益	104	215	△8	10
与信費用(△)	49	95	△16	10

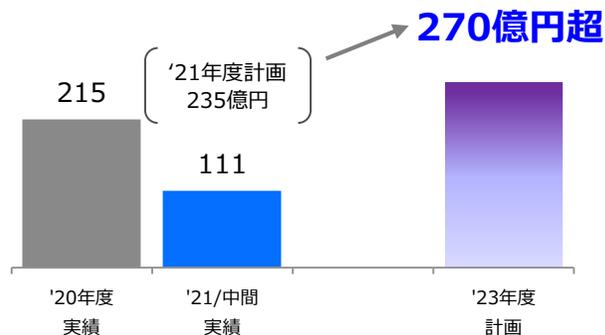
## 2021年度の配当予想

### 1株当たり年間配当金は24円

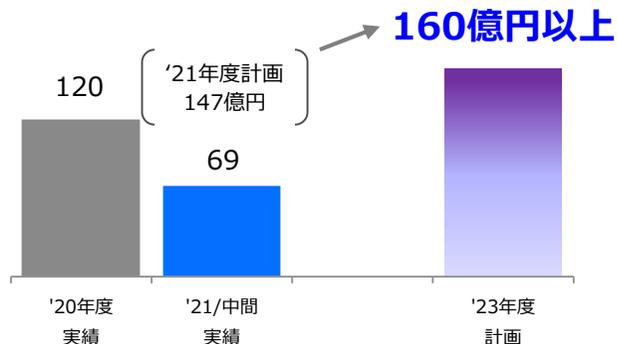
(参考) 配当目安テーブル

親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり配当金額			連結配当性向
	①安定配当	②業績連動配当	①+②	
330億円超～		18円	36円	～34.1%未満
300億円超～330億円以下		15円	33円	31.2%以上～34.4%未満
270億円超～300億円以下		12円	30円	31.2%以上～34.7%未満
240億円超～270億円以下	18円	9円	27円	31.2%以上～35.1%未満
210億円超～240億円以下	6円	24円	30円	31.2%以上～35.7%未満
180億円超～210億円以下	3円	21円	24円	31.2%以上～36.4%未満
～180億円以下	0円	18円	18円	31.2%以上～

## 親会社株主に帰属する当期純利益



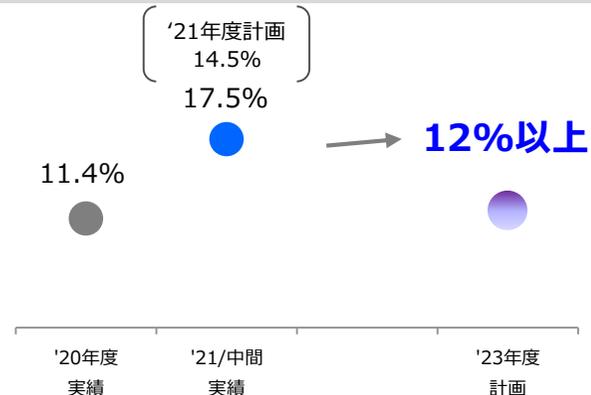
## 法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益※1およびグループ会社当期純利益※2の合計



※1 法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益 = 法人ソリューション、アセットマネジメントおよびエクイティビジネスに係る収益の合計

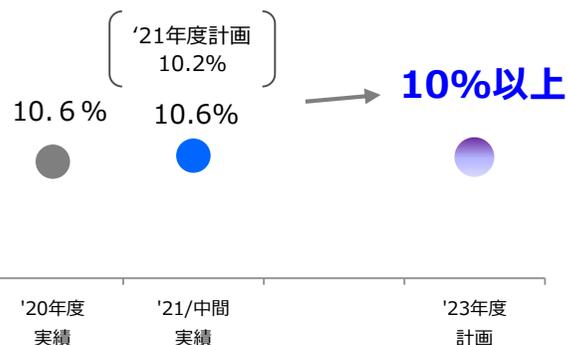
※2 グループ会社当期純利益 = 銀行を除く連結子会社の当期（中間）純利益に出資比率を乗じた額の合計

## グループ会社連結寄与度※3



※3 グループ会社連結寄与度 =  $\frac{\text{グループ会社当期（中間）純利益}(\text{※2})}{\text{親会社株主に帰属する当期（中間）純利益}}$

## 連結自己資本比率



## 連結ROE

